

森の奥のきれいな空気……

酸素原子3つが結合した状態のオゾン(O₃)は、自然界では海岸や森林、高山などに存在します。強い酸化力をもち、脱臭効果、除菌効果にすぐれ空気をきれいにしてくれます。そんな自然界のオゾンをお部屋で活用するために考案されたのがオゾン発生器e-AIRです。

Q オゾンってどんな物質なの?

A オゾンは天然の環境浄化装置です。オゾンは酸素原子(O)が3つ集まった物質で、森林や海辺、高山などの空気中に微量含まれる気体です。森林や滝の近くで「癒される」と感じるのは、空気中のオゾンが関係しています。低濃度のオゾンは天然の浄化装置の役割を果たしています。

Q オゾンって安全なの?

A はい、安全です。オゾンは反応後、元の酸素に戻るため、薬剤のような残留性がありません。

Q 空気清浄器との違いは?

A オゾンは臭いの元を分解します。空気清浄機はフィルターを通した空気を脱臭します。オゾンは、空気だけでなく壁やカーテンなどに染み付いた臭いの元も分解できます。

Q ランニングコストはどのくらい?

A 電気代は6時間使用で約0.5円。オゾンは空気中の酸素を原料とするため溶剤などは不要です。ランニングコスト(電気代)も6時間使用して約0.5円と安価です。そのうえ、フィルターなどの交換などもありません。

Q なぜオゾンは脱臭・除菌力があるの?

A 飛び出した酸素原子が大活躍します。酸素は酸素原子Oが2つ繋がった安定した物質です。しかし、酸素原子が1つ多いオゾン(O₃)は、不安定な物質で空気中にとると短時間で分解し、酸素(O₂)に戻る性質を持っています。はじき出された1つの酸素原子(O)は、強い酸化力をもち、臭いの元や雑菌などに反応します。その結果、脱臭・除菌・分解・漂白の効果をあらわします。



Q 芳香剤との違いは?

A 芳香剤は臭いを包むだけ。芳香剤は香りによって臭いを包み込むだけなので臭いの元を分解することはできません。



e-AIR採用の「低温プラズマ発生体」とは?

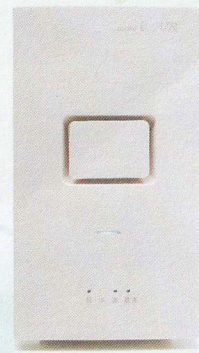
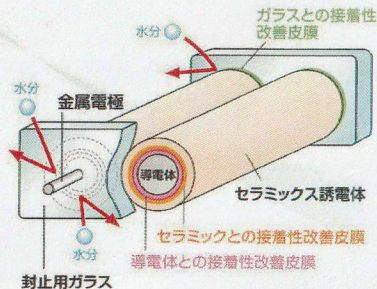
従来使用されていたオゾン発生体と比べ、耐久性が高くかつ環境に左右されない安定したオゾン発生を可能にした新技術です。

特長1 岡山県との共同特許出願

日本・米国・中国にて特許取得済みです。
日本:特許番号/No.3015268
米国:特許番号/No.5698164
中国:特許番号/No.95103311.5

特長2 抜群の耐久性!

電極がセラミックとガラスにより封止されており、温湿度・付着物による影響を受けにくい電極の劣化がありません。



OZONE e-AIR

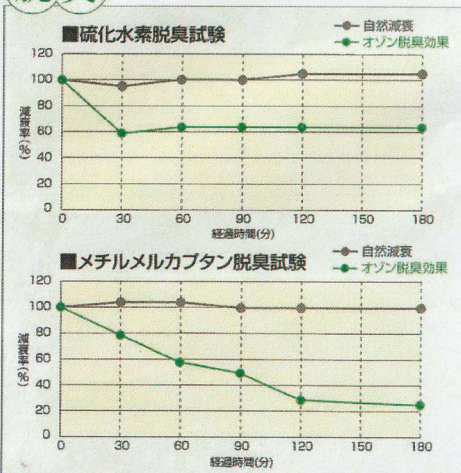
特長3 安定した発生!

湿度によるオゾン発生量の低下を最小限に抑え、常に安定した発生が可能です。

特長4 優れた安全性

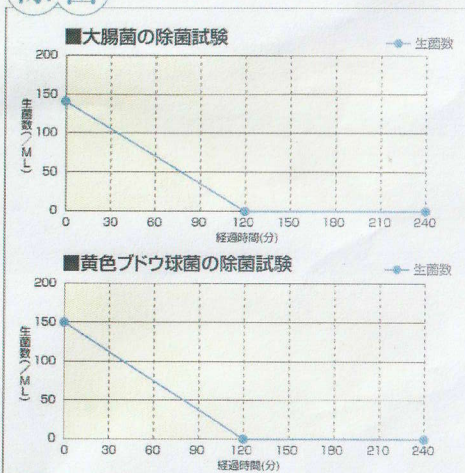
「間欠運転」機能により、オゾン濃度が高くなる心配もありません。そのため室内のどこでも使用いただけます。

脱臭 悪臭元の「硫化水素」「メチルメルカプタン」に効く



■試験方法: 対象の悪臭物質(硫化水素、メチルメルカプタン)をそれぞれ試験ボックス(1㎡)内に注入した量、オゾン濃度が0.05ppm~0.1ppmとなるようにプログラム(間欠運転)されたオゾン発生器を用いて測定。
■試験機: 株式会社NSC試験設備(登録商標) 第201401040-001-EZA号
■製品本体の運転モード(節・中・強・急)での試験結果ではありません。
■試験結果は実空間での実証結果ではなく、実空間で同様の結果を確保するものではありません。
■無菌・無ウイルス状態を作り出すのではなく、感染予防を確保するものではありません。

除菌 「大腸菌」「黄色ブドウ球菌」の除菌



■試験ボックス(W400mm×D400mm×H500mm)内に菌液を塗布した試験平板培地を設置し、オゾン濃度が0.05ppm~0.1ppmとなるようにスイッチによる連続動作にて間欠動作されたオゾン発生器を用いて測定。
■試験機: 株式会社NSC試験設備(登録商標) 第201405588-001-NBA-1号
■製品本体の運転モード(節・中・強・急)での試験結果ではありません。
■試験結果は実空間での実証結果ではなく、実空間で同様の結果を確保するものではありません。
■無菌・無ウイルス状態を作り出すのではなく、感染予防を確保するものではありません。